

BOSE®

OWNER'S MANUAL

ENVIRONMENTAL SPEAKERS

251B/W

目次

この度は251B/Wをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管されるようおすすめいたします。

安全上の留意項目	2
開梱時に際してのご注意とお願い	3
本体のお手入れについて	3
付属品を確認してください	4
設置について	5
スピーカーの取り付けについて	6
付属の専用ブラケットを使用する場合	6
付属の専用ブラケットを使用しない場合	7
スピーカー本体を専用ブラケットに取り付けます	8
本機とスピーカーケーブルを接続します	9
故障かなと思ったら	10
故障の場合のお問い合わせ先	10
寸法図	11
仕様	11
保証	裏表紙

251B/W取扱説明書



説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

 警告	⊘	スピーカーコードの上に重いものをのせたりコードをくぎやステッフルで固定したり、製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んでしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
	△	スピーカー内部に金属片や異物などを入れないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
	⊘	スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	⊘	<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。

 注意	⊘	ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
	●	スピーカーを高いところに設置される場合には、足場が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
	⊘	定格を超える信号を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	⊘	高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
	⊘	取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。

開梱に際してのご注意とお願い

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。カートンケースとパッキング類は、輸送用として後日使用する場合がありますので処分せずに保管しておくことをおすすめします。

本体のお手入れについて

キャビネットの汚れを落とす場合

汚れやホコリは、柔らかい布で、から拭きをしてください。

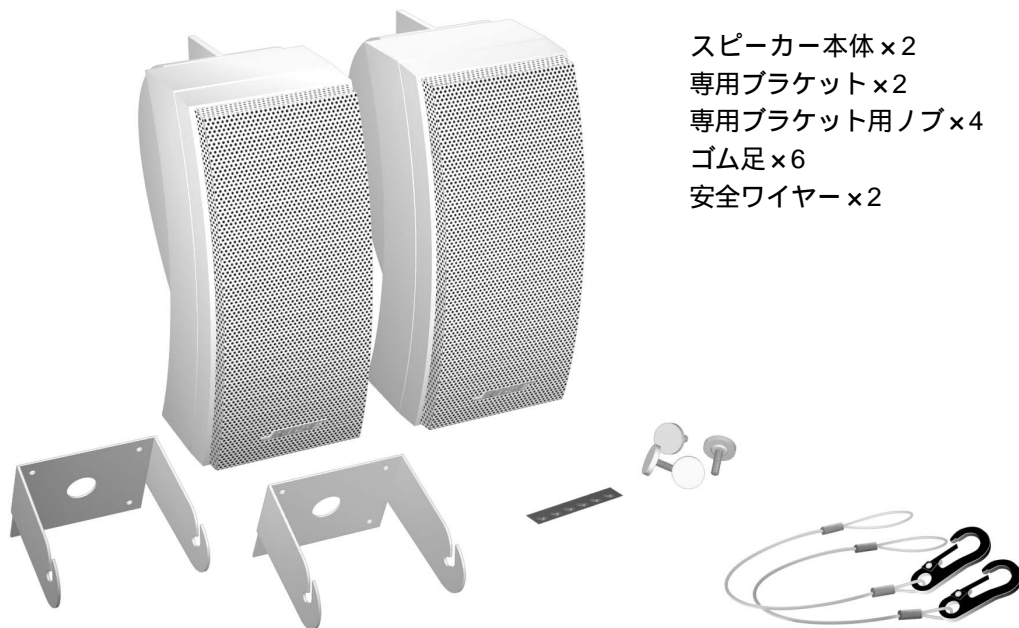
汚れがひどい時には、中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し、強く絞ってから汚れを拭きとり、別の乾いた柔らかい布で、から拭きをしてください。

シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

スピーカーの防磁について

このスピーカーは、防磁処理が施されていないので、テレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

付属品を確認してください



スピーカー本体×2
専用ブラケット×2
専用ブラケット用ノブ×4
ゴム足×6
安全ワイヤー×2

⚠ 注意

本機のグリルは外さないでください。本機のグリルは一度外すとグリルと本体の固定強度が下がり、振動などでグリルが外れ、落下する恐れがあります。

⚠ 警告

窒息する危険がないように、スピーカーを包んでいたビニール袋は子供の手の届かない場所に保管してください。

設置について

スピーカーの再生音は、スピーカーを設置する場所や、環境などに大きく影響されます。より良い再生音が得られるよう次の点を考慮した上、設置してください。

できるだけ遮音された静かな空間でご使用ください。

音質は、空間の音響特性によって変化します。スピーカーの正面にガラス戸や壁面などがあると、音の反射や共振が起き易くなります。この場合、カーテンなどによって吸音処理することをお勧めいたします。

スピーカーを硬い床などに直接置いて使用されますと、音の反射や共振が起き易くなります。防振材や絨毯などを敷くことによって抑えることができます。

ステレオ再生の場合、左右スピーカーができるだけ同じ音響条件になるように設置してください。極端に左右の条件が異なると、音像の定位がぼやけたり、音圧に差が出る場合があります。

⚠ 注意

強度の不十分なところや、取り付け面内部や背後にパイプや電線などが通っているところには設置しないでください（詳細については専門業者にお尋ねください）。

スピーカーが落下しないように取り付けてください。

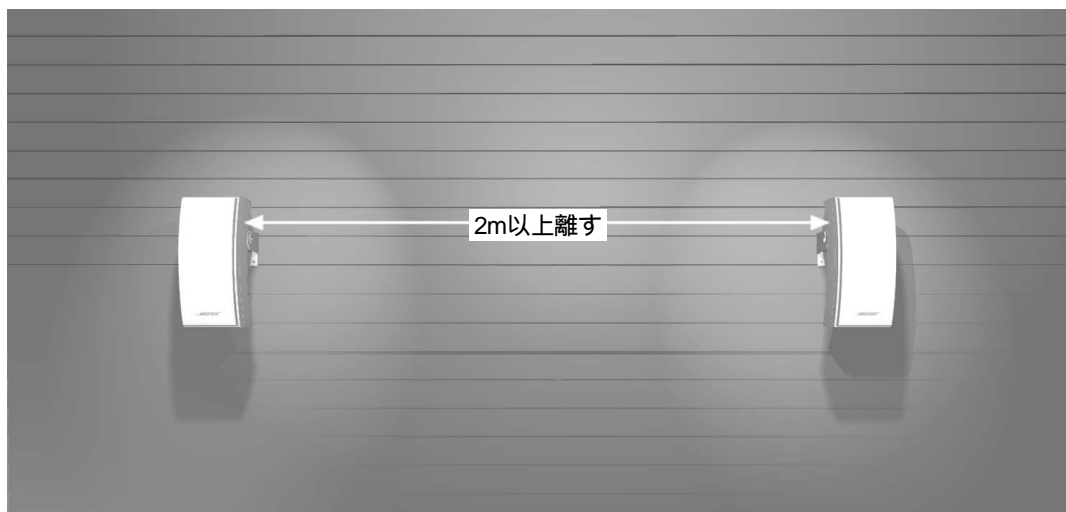
このスピーカーは防磁処理が施されていないので、テレビやモニターが影響を受けない距離まで離してください。

本製品は下記の場所では使用できません。

- ・海水がかかる場所（ポート、漁船等）
- ・浴室内、温泉地、その他湿度が極端に高い場所。
- ・空気中にカルキや塩分、硫黄を多く含む場所。
- ・刺激性・腐食性ガスを発生する可能性のある場所等。

グリルは取り外さないでください。

スピーカーの設置例



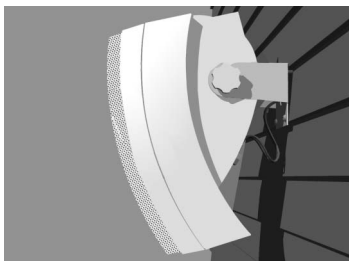
スピーカーの取り付けについて

付属の専用ブラケットを使用する場合

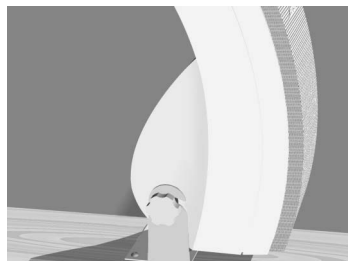
本機は付属の専用ブラケットを使用して、壁面、天井、テーブルなどに取り付けることができます。その際、取り付け面の強度が充分であることを確認してください。

スピーカーを下図のように縦方向に取り付けると、より良い音響効果が得られます。

壁面に取り付ける場合



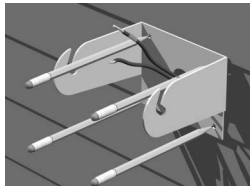
テーブルなどに取り付ける場合



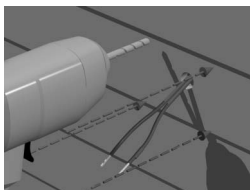
注意：スピーカーは上向きにならないように設置してください。

専用ブラケット取り付け手順

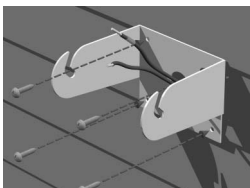
スピーカーを取り付けたい場所にネジ穴の印しをペン等で4箇所つけ、位置を決めます。



取り付ける壁などの材質(木、セメント等)に合った最適なドリルビットを使用して穴をあけます。

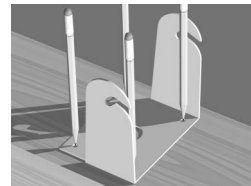


適切なネジを使用して専用ブラケットを固定します。

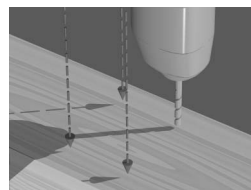


専用ブラケット取り付け手順

スピーカーを取り付けたい場所にネジ穴の印しをペン等で4箇所つけ、位置を決めます。

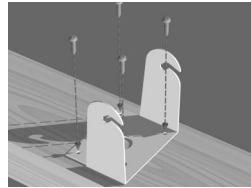


取り付けるテーブルなどの材質(木、セメント等)に合った最適なドリルビットを使用して穴をあけます。



適切なネジを使用して専用ブラケットを固定します。

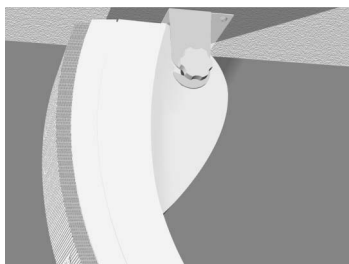
グリルに付いているロゴが逆さになったときは、ロゴを回転させてください(7ページ参照)。



⚠ 注意

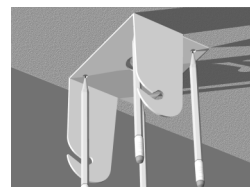
壁やテーブルなどに取り付けるためのネジは付属されておりません。取り付ける面の材質(木、セメント等)を考慮して、スピーカーの重量に合ったネジや補強材を使用してください(詳細については専門業者にお尋ねください。)

天井に取り付ける場合

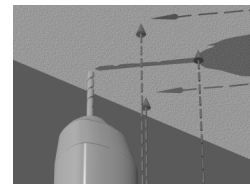


専用ブラケット取り付け手順

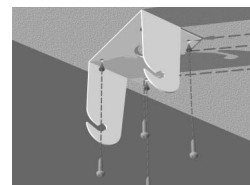
スピーカーを取り付けたい場所にネジ穴の印しをペン等で4箇所つけ、位置を決めます。



取り付ける天井の材質(木、セメント等)に合った最適なドリルビットを使用して穴をあけます。



適切なネジを使用して専用ブラケットを固定します。



⚠ 注意

天井に取り付けるためのネジは付属されておりません。取り付ける面の材質(木、セメント等)を考慮して、スピーカーの重量に合ったネジや補強材を使用してください(詳細については専門業者にお尋ねください。)

付属の専用ブラケットを使用しない場合

付属の専用ブラケットをご使用にならない場合は、丈夫で水平なテーブル面にスピーカーを置いて使用することができます。この場合は付属のゴム足を図のようにスピーカー本体に取り付けてください。



グリルのロゴについて

ボーズのロゴが逆さになっている場合は、グリルのロゴを回転させることができます。ロゴがグリルからはずれないように、指でほんの少し(2~3mm程度)だけ浮かせ、時計回りに180°回転させてください。

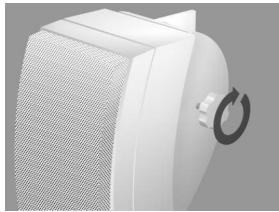


⚠ 注意 グリルは取り外さないでください。

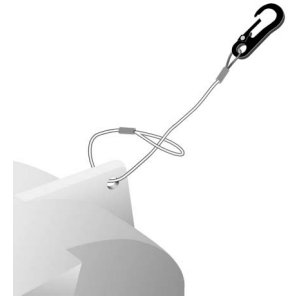
スピーカー本体を専用ブラケットに取り付けます

付属の専用ブラケットの取り付けが完了しましたら、次にスピーカー本体をブラケットに取り付けます。

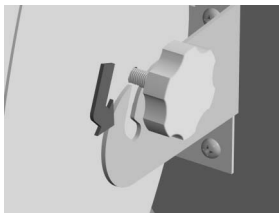
ノブをスピーカー本体の両側に差し込み、ノブを2回ほどまわして仮止めします。



図のように安全ワイヤーをスピーカー本体の穴に通します。



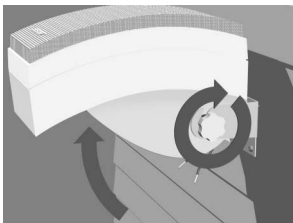
スピーカー本体を動かして、ブラケットに掛けます。



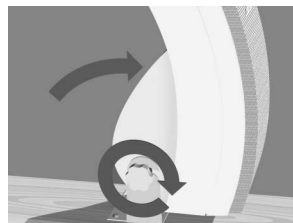
安全ワイヤーを専用ブラケットに取り付けます。



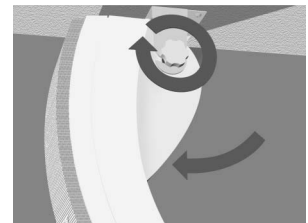
スピーカーケーブルを取り付ける為に、スピーカー本体を回転させ、ノブを締めて仮止めしてください。



壁面の場合



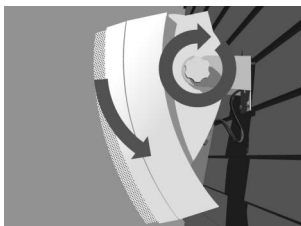
テーブルなどの場合



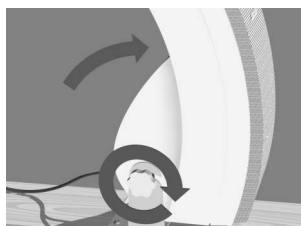
天井の場合

スピーカー本体の位置を最終的に固定します。

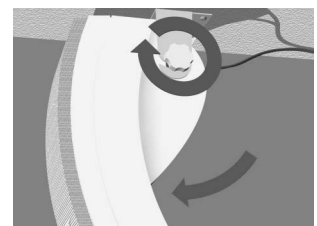
ノブをゆるめ、スピーカーを好みの角度に合わせてから固定します。



壁面の場合



テーブルなどの場合



天井の場合

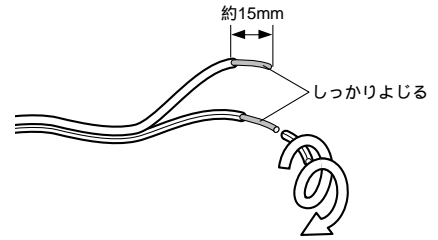
注意:スピーカーは上向きにならないように設置してください。

本機とスピーカーケーブルを接続します

スピーカーケーブルについて

使用目的にあった太さのスピーカーケーブルを使用してください。
スピーカーケーブルには、先端処理の施されていないもの（先バラタイプ）やバナナジャックタイプのものをご使用になれます。

先バラタイプのスピーカーケーブルを使用する場合は右の図のようにスピーカーケーブル先端の被覆をむいてしっかりよじります。



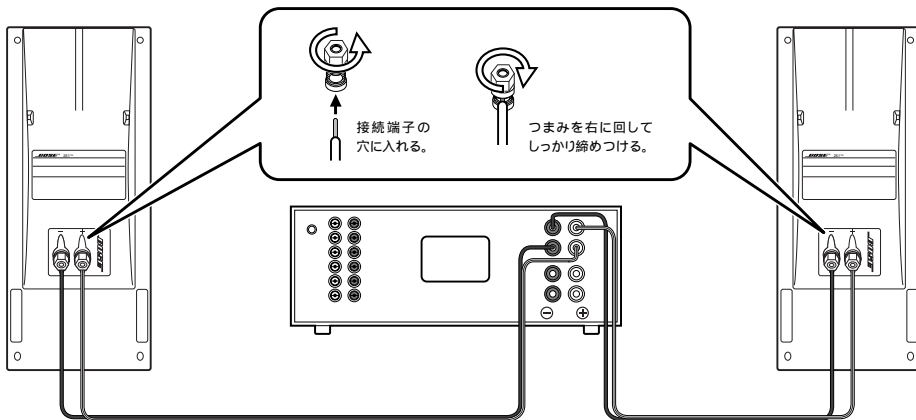
スピーカーケーブルは、スピーカーの ⊕ 側端子とアンプまたはレシーバーの ⊕ 側端子を、スピーカーの ⊖ 側端子とアンプまたはレシーバーの ⊖ 側端子を接続します。

壁の内側や地中にスピーカーケーブルを這わせる場合は、専門業者にお問い合わせの上、作業を行ってください。スピーカー本体とアンプまたはレシーバー間の距離に見合った十分な長さのスピーカーケーブルを使用してください。

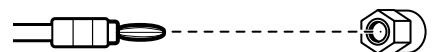
⚠ 注意

スピーカー本体とアンプを接続する時は、必ずアンプの電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

本機とスピーカーケーブルの接続



使用するスピーカーケーブルがバナナジャックタイプの場合は、そのまま、スピーカー本体の端子に接続します。



接続が正しいかどうかを必ず確認してください。

アンプまたはレシーバーの電源プラグをコンセントに差し込む前に、接続端子部につながれたスピーカーケーブルが端子部で緩んでいないか、ケーブル端子内でショートしていないかを必ず確認してください。スピーカーケーブルが正しく接続されていないとアンプまたはレシーバーの故障の原因となります。

故障かなと思ったら

症 状	原 因
・両方のスピーカーから音が出ない	・ アンプまたはレシーバーの設定をチェックしてみる。アンプまたはレシーバーの設定は各製品の取扱説明書を参照。
・低域、高域が弱い	・ アンプまたはレシーバーの音質調整をチェックする。
・スピーカーが片側(1本)からしか音が出ない	・ アンプまたはレシーバーのバランス調整が中央になっているか確認する。
・それでもスピーカーが片側(1本)からしか音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音が出ないスピーカーの接続を確認する。スピーカーケーブル自体に不具合がないか、しっかり接続されているかを確認する。 ・ 音が出ているスピーカーのアンプまたはレシーバー側の接続を外す。音が出ていないスピーカーのケーブルを音の出ているアンプまたはレシーバーの端子に接続する。スピーカーから音が出た場合はアンプの片チャンネルが故障している可能性がある。 ・ それでも音が出ない場合は、音が出ているスピーカーからスピーカーケーブルを外し、音の出ているスピーカーに接続する。音が出た場合はスピーカーケーブルが断線している可能性がある。音が出ていない場合は、スピーカーが故障している可能性がある。

故障の場合のお問い合わせ先

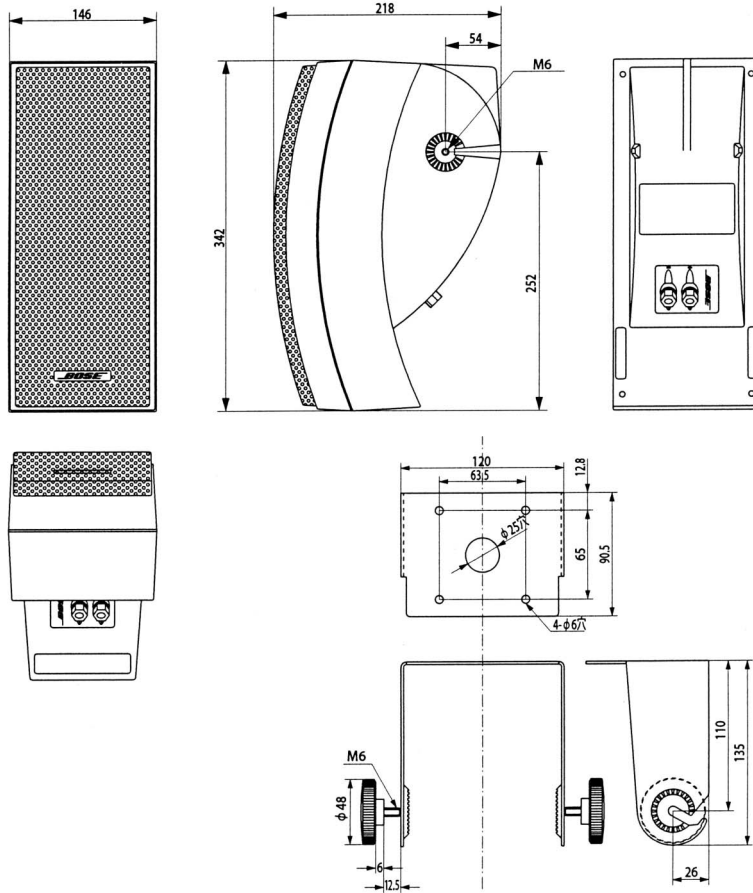
故障及び修理のお問い合わせは、ポーズ・サービスセンター株式会社 ☎ 042-357-5250

住所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、ポーズ株式会社インフォメーションセンター ☎ 03-5489-0955

までご連絡ください。

寸法図



仕様

使用ドライバー	5.7cmハイパワー・ワイドレンジ・ドライバー - ×2本 13cmウーファー×1本
クロスオーバー周波数	250Hz at 6dB/Oct
インピーダンス	6 Nominal
耐入力	100W(IEC268-5 100時間連続)
感度	82dB/W/m SPL以上
歪率	10%以下(最大入力時)
低域カットオフ	-3dB at 75Hz
サイズ	146(W) × 342(H) × 218(D)mm
重量	3.6kg(専用ブラケット及びノブは含まず)
本体カラー	251B...ブラック 251W...ホワイト(マンセル3属性値N、9.5/0近似)
その他	非防磁

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE[®]
Better sound through research[®]

ボーズ株式会社

〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷Y Tビル TEL 03-5489-0955

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。